

東京・銀座の文化発祥地として親しまれてきた劇場が先進の照明演出システムを導入。使い慣れた操作環境でより高度な演出を実現する「パレータスY」を採用いただきました。

銀座博品館劇場

リニューアル

調光システム納入レポート 〈ホール〉

●記憶調光操作卓「パレータスY」



■概要

施主／株式会社博品館 様
 名称／銀座博品館劇場
 所在地／東京都中央区銀座
 舞台照明設備工事 / パナソニックESエンジニアリング(株)
 リニューアル / 2011年7月

■施設概要

客席数 / 381席
 舞台 / 間口10.8m 高さ4.5m 奥行7.2m

■納入機器

記憶調光操作卓「パレータスY」

昭和53年の開場以来、銀座における文化の発信地として幅広い層の観客に親しまれてきた銀座博品館劇場。ミュージカルやダンスなど、次代を担う才能の育成にも力を入れており、より高度で新しい演出に対応するため調光システムのリニューアルが行われました。パナソニックでは、これまでの使い慣れた操作環境に新たな機能を随所に加え、さらなる使いやすさを追求した「パレータスY」をご提案。先進のライティングパフォーマンスはもちろん、ネットワークに接続したモバイルPCで「パッチ」「レベル設定」などの仕込操作やデータのバックアップができるなど、時代に応じた機能性と操作性が高く評価され、採用いただくことになりました。今日もまた、臨場感あふれるステージで繰り広げられる舞台芸術の未来を、先進の技術が支え続けています。

使い慣れた操作環境で先進の照明演出を実現 記憶調光操作卓「パレータスY」



- 使い慣れた操作環境のまま、最先端の照明演出を実現。
- シーン再生や段マスタ、CHマスタ機能など、フレキシブルに使用できる10本の「マルチフェーダ」を搭載。
- Ethernetを標準装備。ネットワークに接続したPCによる「パッチ」「レベル設定」などの仕込操作やデータのバックアップが可能(オプション)。
- 多彩な演出を可能にする20本×50ページのサブマスタ再生機能を装備。
- 機能別に構成された専用パネルにより使いやすさを追求。



銀座博品館劇場

■記憶調光操作卓「パレータスY」

制御回路数	1024回路
制御チャンネル数	1024ch
調光制御信号	DMX512(USITT1990) ×2 / イーサネット
プリセットフェーダ	80本 ×3段
サブマスタフェーダ	20本 ×50ページ
マルチフェーダ	10本(シーン再生段マスタチャンネルマスタ機能)
記憶シーン数	1000シーン
パート機能	最大5パート(キュー再生)
エフェクト	100ステップ ×100(ボタン)(最大1000ステップ)
エフェクト同時再生機能	最大5エフェクト(サブマスタキューエフェクト)(レベル再生)
バッチング	4場面(2場面同時再生機能対応)
PC	モバイルPC(Windows XP) ×1台
表示装置	17型TFTカラー液晶ディスプレイ ×1台